

九戸の商店に、焦点を



こんにちは。もしかして、はじめまして。地域おこし協力隊の福島多恵です。

この度、新聞を発行させていただくことになりました。「九戸の商店の魅力を多くの人に伝えよう」という目的のもとに始まった新聞作りは、どうかこうにか発行までこぎつけることができました。

突然、現れたわたしの話を聞いてくださったお店のみなさま、取材を快く引き受けてくださったお店のみなさま、本当にありがとうございました。

小学生でも楽しく読めるものにした！という思いから、わたしが『おもしろい！』と感じたことをなるべく楽しく伝えようと夜しか寝ずに頑張りました。どこかで少しでもクスツとしていただけたら嬉しいです。人が築きあげたもの、人が継続してきたこと、人の出会いが時間の流れに乗り、産んだ今を生きる者として、昔の話を聞けたことは財産になりました。

2021年（令和3年）
10月20日
水曜日

発行所
九戸村役場
九戸村伊保内 10-11-6
☎ 0195 - 42 - 2111



したむら 商店

自販機のヒミツ
自販機を置く面白さ、大変さ、初めて知ることばかりでした。

P3

くらっこ

ご夫婦の馴れ初め&商売の歴史
現代の基盤が作られた時代を生きたお二人の話は別世界の話みたいでした。

P2



大谷せんべい

せんべいができるまで
南部せんべいを作る様子を間近で見させていただきました。

P6

ふるかわ

洋服紹介
オシャレなショーウィンドウに惹かれ、。時代も様々な洋服を着させてもらいました。

P5

みやがわ

お店の成り立ち
初代～今の店長さんまでお店について聞きました。

P4



いつもご夫婦2人で元気に店先に立つ姿が印象的なくらっこさん。2人の出会いや、昔～今の商売の変化を伺いました。

文雄さん誕生
くらっこ商店も誕生

盛岡→東京→横浜→
名古屋→大阪



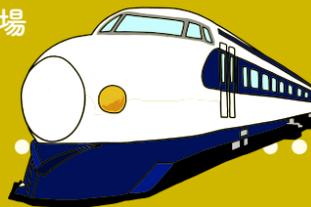
転勤であちこちを回った。

昭和23年

一戸の呉服屋さんで
洋子さん誕生



新幹線や高速道路が登場



昭和39年



大阪万博開催

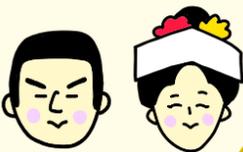
昭和45年

景気がとてもよかった時代。
問屋さんから無料旅行のお誘いがたくさんあった。『グラムが一番よかったかな〜』

お見合い相手を目見たかった文雄さん。洋子さんの店にこっそりハンカチを買いに行った。



結婚



文雄さんは店を継いだ。



あそこの娘さんは育ちが良さそうぞぞ〜

洋子さんはモテモテ！
お見合いの話がた〜くさん来た。

お見合い結婚

結婚相手は親が決める時代。親に「この人いい人だぞ！」と言われれば「そうか！」となった。
洋子さんの親が「文雄さんのお母さんは良い人だ」と言って選んでくれた。
『本当に最高のお義母さんだった』（洋子さん談）

3人の子宝に恵まれる。



優しいご両親は早くに他界。



昭和

九戸にはたくさんの商店があった

子育てとお店とで大忙し。
『遊びになんて行けなかった』

商売と時代と人生

現代

コンビニスーパーなど大型店が進出

九戸の商店はみるみる減ってしまった。
『同業者が減ってしまったことは悔しい…』
地域のお年寄りに寄り添えるような店を続けたい…！という想いで、配達サービスにも力を入れている！



新婚旅行
伊豆大島周辺



モノを並べればなんでも売れた！
『お金が紙切れに見えた』



くらっこ商店

九戸村江刺家第10-77-2
電話 0195-42-2613

営業時間 6:30~22:00
年中無休(1月1日もやってるよ!)
配達無料(どんなに小さいものでも◎)

灯油・
生鮮食品・
雑貨・お酒





ずらりと並ぶ自販機が目を引きしたむら商店さん。自販機にまつわるあれこれを聞いてきました。

自販機のヒミツ



中のヒミツ

ホット・クールはボタンで切り替え！10月からホット商品が並ぶ。



入れられたお金は自動で選別される。



機械の中にある商品を登録するリモコン。



ヒミツの楽しみ

売り上げを毎日チェックして、ノートに記録を付けている。『なにがどんな時期、良く売れるのか分析することが楽しい』



設置のヒミツ

お店の営業時間以外も販売可能な自販機。新しい国道ができ、お店の向きを変えた頃から置き始めました。人と関わるのがやや苦手な店長の純一さんは、さらに自販機を増やしました。一番多かった時で17台もあったんだとか。

昔のヒミツ

コンビニがなかった時代。夜中もやってる自販機は若者たちの良い溜まり場だった。

多前ひと昔



ヒミツの人気

1993年頃に設置したハンバーガーの自販機は今じゃとても珍しい機械。動いてはいないけど写真を撮りに来る人がいる。

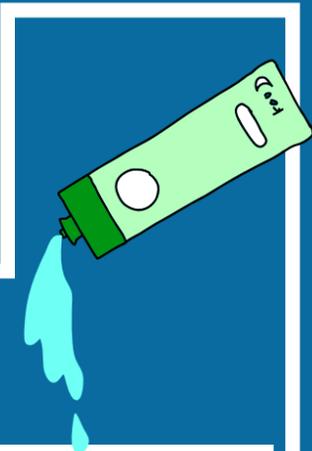


「こんなこと一生懸命するくらいなら普通に稼いだ方が早いよー（苦笑）」



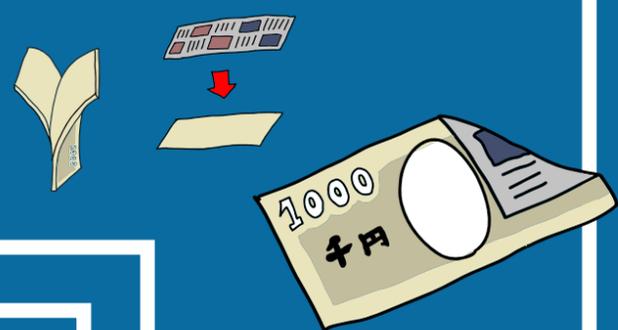
自販機荒らしの

巧妙な手口のヒミツ



洗濯洗剤をお金を入れる場所に流し込み、お金だと感知させ、おつりを出させて盗む。

スタンガンを当てて、機械をおかしくして、おつりを出させる。



お札を2つに裂いて、片面に新聞紙を貼り、自販機に投入。一枚のお金が2倍になって使える。



これらの手口が通用したのは、昔の機械。今の機械は精度が上がり、怪しいことをしても意味がないし、すぐにバレるので真似はやめましょう。

名前前のヒミツ

小さい頃から、苗字の読み方を疑問に思っていた純一さん。



「しもむら」「したむら」どっちなの〜？

親に聞くと「どっちでもいい」と言われたそう。近所の人は「したむら」と、呼ぶ人が多かったのと、「したむら」の方が珍しいかなーと思い、あえて店の名前はひらがなで「したむら」にしたそう。



したむら商店

九戸村戸田第3-66-2
電話 0195-43-2704

営業時間 6:30~20:00
年中無休(1月1日もやってるよ!)
配達も無料で行っています!



店内にはズラリと服が並び、外にはトマトののぼりが!?
みやかわさんの創業エピソードにはびっくりしました。

みやかわ 誕生秘話

宮川フミさんは、小学校を卒業して13歳から行商をしています。八戸や盛岡で買った服などを九戸まで運んで売ります。今ほど交通機関が発達していなかったため、フミさんは二戸市福岡まで4時間歩いて行っていたそう。当時の睡眠時間は3時間。たくさん働いて27歳という若さで今のみやかわの店を建てました。

ぎょうしろう【行商】

店を構えず、商品を持って売り歩くこと。また、その人。



フミさんの旦那さんは、装蹄師。家を建てた時も、半分は衣料品店、半分は装蹄場でした。フミさんの娘さん、育子さんは、子どもの頃こたつから馬のおしりを眺めてたそうです。育子

さんがお店を継いだのは18歳の時。体調を崩したお母さんに代わってお店を切り盛りしました。

そうていし【装蹄師】

馬の蹄に蹄鉄を打つ技術者のこと。



みやかわへ、一関からお嫁に来た由美さんが今は店長さんとしてお店に立っています。コロナが流行る以前は、東京や大阪まで服の買い付けに足を運んでいました。「自分が選んできた服がお客さんに買ってもらえる」と嬉しいです」

育子さんの息子さんの健吾さんはトマト農家を営んでいます。店頭では、規格外トマトをお手頃価格で購入することができます。

Kai Select

服マニアで協力隊の佐藤くんが、みやかわで気になった服を紹介します。

ワークパンツ

ベトナム式

米式



ポケットがある



ポケットがない



長袖ポロシャツ

震えるほど安いこのポロシャツはサイズもカラーも豊富！夏は一枚で、冬は羽織りの中に着て、四季を通して活躍します。僕もこの形のポロシャツは2枚持っています！（価格税抜 680円）

『村で着る服は、
村で買えばいいじゃない』



柄スモック

首元が広く開いているので、中に着る服との組み合わせが楽しそう！（価格税抜 3,800円）

初めて聞く呼び方に驚きましたが、その正体はワークパンツ（作業ズボン）でした。戦争の名前がルーツのズボンで、国の名前は生産国とは関係ありません。

どちらもセンタープレスが入っているので、スーツのように見えます。しかし、スーツのような窮屈さは無い上に、丈夫な生地で作られています。お出かけにも作業にも、場所を選ばずいつでも穿ける優秀なズボン！

（左：価格税抜 2,700円）（右：価格税抜 2,600円）



総合衣料 みやかわ

九戸村伊保内第11-15-1
電話 0195-42-2827

営業時間 8:30~18:30
定休日 元旦



見慣れない形や柄の服が並ぶふるかわさん。快く着させていただき、時代ファッションを楽しみました♪

服だって枝分かれ進化するのだ。

「ハンチャ」からの「ソデナシ」

中に綿が入っていて防寒着として着られていた「半てん」。県北では「ハンチャ」と呼ばれています。ハンチャの袖を無くしてさらに身軽にしたのが「ソデナシ」。
誰かの気づきや想いで、生まれ、形を変えた服がこうして今も残っているのです。

個性豊かな総柄も魅力。
羽織れば一気に注目の的！



ハンチャ



ソデナシ

ソデナシは、ハンチャの中に着て防寒レベルを高めたり。今で言うユ●クロウルトラライトダウンベストですね。



あの人気キャラの服装に似ている…！

- ハンチャ (扇柄) 6,500円
- ハンチャ (オレンジ) 8,000円
- ソデナシ (右上) 5,400円
- ソデナシ (左上) 5,600円

似ているけれど違いはなんなの！！

「割烹着」と「スモック」

日本で生まれた「割烹着」はエプロンとして使われてきました。一方、「スモック」は羊飼いや画家の作業着として18世紀前半イギリスで誕生しました。

- ブルースモック 1,980円
- ピンクスモック 1,500円
- 割烹着 1,020円



スモック

特徴…前にボタンが付いている

ふるかわのスモックは作業着とは思えないほど品のある柄があって、オシャレに着れちゃいます。



かっぽうぎ

特徴…後ろで紐を結ぶ



流行は一周するって言うけど、ほんとにステキ。

「柄シャツ」&「ドカジャン」

昭和風な模様や生地が特徴の総柄シャツは令和になってもナウい。

土木工事の作業着(土方)がよく来ていたことから、土方のジャンパーで「ドカジャン」と呼ばれています

外で長い時間、仕事をする方のために作られているためとても暖かいです。

柄シャツ



ドカジャン

ドカジャン 6,750円



- 刺繍シャツ 14,700円
- スカーフ 1,770円

- 総柄シャツ 7,050円
- 水玉スカーフ 1,180円

総合衣料 ふるかわ

九戸村伊保内第12-22
電話 0195-42-3020

営業時間 9:00~18:00
定休日 年末年始



あの服、この服で、タイムスリップ

江戸時代

明治時代

昭和時代

※価格はすべて税別



食べてばかりで作られ方を知らなかった南部せんべい。大谷せんべいさんで職人技を目の当たりにしました…。



1 こねる

重曹を入れると生地が加熱した時膨らむよ。

小麦粉、塩、重曹（タンサン）を混ぜこねて、せんべいの生地を作る。

2 カットする

せんべい1枚分の生地のカットしていく。



すごい速さで行われていた！ 職人技！

3 ごま付け、のばす

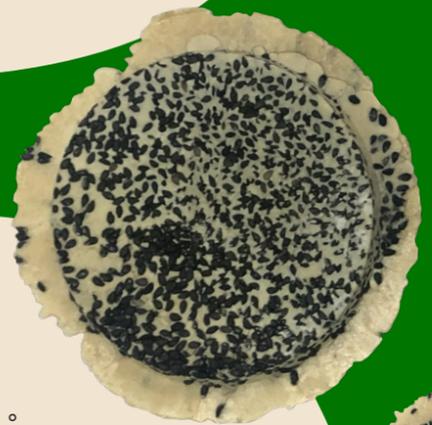
ごまをまんべんなく付け、生地をめん棒で軽くのばす。

せんべいとみみで分けられる！



4 窯で焼く

生地をせんべいの型にセットする。型がくるくる回転する窯の中で5分程焼く。



5 袋詰め

形が悪いものを省いて袋に詰めていく。



6 完成！

大谷せんべいでは現在10種類以上の味を製造している。

まるでごまを食べているみたい！



大谷せんべい

九戸村伊保内第11-26-7
電話 0195-42-4725

営業時間 (夏) 8:00~18:30頃
(冬) 8:00~18:00頃

※税込表示



せんべいのみみ 200円



ピーナッツごま 206円



くるみ 206円



厚ごま 206円

くのへ商人

取材にご協力してくださったみなさん。
楽しい時間をありがとうございました。



大谷せんべいのおせんべいはいつもおやつとして、役場の部屋にあります。すごい速さで作業している中、取材に対応してくださりありがとうございました。【大谷せんべい】



お2人で微笑みながら昔話をしてくれました。
若い頃のお写真すてきでした。【くらっこ】



了子さんと裕之さんはとても親切に服を貸してくれました。
取材のためにショーウィンドーをピカピカにしてくれました。【ふるかわ】



したむら商店の自販機でいつも遠出をする時、飲み物を買います。純一さんはわたしと同じくらいの娘さんがいるようで可愛がってくれました。【したむら商店】



3人の元気で素敵な歴代の店長さん。
お仕事を楽しくこなされている姿がかっこいいです。
【みやかわ】

くのへ商店 MAP

くらっこ

生鮮食品、灯油、生活雑貨、お酒など。無料配達も可能。

折爪岳



九戸 IC

道の駅おりつめ
オドデ館

340

みやかわ

婦人服から紳士服・衣料雑貨まで。広い店内にズラリ。

大谷 せんべい

10種類以上の南部せんべいが食べられる！



九戸村役場

街の駅
まさざね館

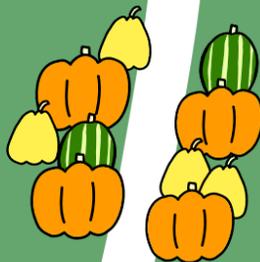


ふるかわ

かわいいマネキンがお出迎え。時代を感じる個性的な形や柄の服が！

スキー場

戸田
かぼちゃロード
(10月上旬)



したむら 商店

自販機がズラリ。店内には食品～雑貨まで。配達も可能。



九戸の商店、九戸の秋を楽しもう！



九戸にはまだまだたくさんの商店や飲食店がありますが、地図には今回取材にご協力いただいたお店のみ記載しております。

「くのへ商店新聞第2号」発行予定！！

さらに新たなお店を取材し、第2弾を作る予定です。取材にご協力いただける方、こんなことをとりあげてほしい！という希望がある方、ご連絡お待ちしております！

【お問い合わせ】

九戸村役場 IJU 戦略室
地域おこし協力隊 福島
☎ 0195-42-2111

〈取材協力店舗〉
野辺地商店くらっこ
したむら商店
総合衣料みやかわ
総合衣料ふるかわ
大谷せんべい
〈取材撮影・編集〉
福島 多恵
〈撮影・編集協力〉
佐藤 快威
〈校正〉
関口 麻輝
〈Special Thanks〉
高松 皇輝